

J-WIP 活動報告

企画担当理事



2024年11月26日、ワシントンDCで働く女性を応援する J-WIP (※)による第28回目のスピーカーイベント「What to Expect from the Trump 2.0 International Economic Policy(第二次トランプ政権の国際経済政策を予測)」を開催いたしました。

当日は、ホーガン・ロヴェルズ法律事務所パートナーのケリー・アン・ショウ氏を講師として迎え、ご本人のキャリア形成プロセスをお話いただきながら、第二次トランプ政権の国際経済政策を占っていただきました。

感謝祭を直前に控えた慌ただしい時期ではありましたが、会場には男女問わず、31名の商工会会員・非会員が集まり、活発な意見交換が行われました。

ケリー氏はここ10年間、米政府の要職に就かれ、直近では第一次トランプ政権ホワイトハウスで大統領副補佐官(国際経済担当)兼国家経済会議副委員長を務められました。同政権では、G7、G20およびAPECにおいて米国の「シェルパ」を務め、G7会議では史上初の女性だけから成る米国代表チームを編成、リードされました。米中貿易協定(第一段階)を含む、国際貿易協定の立案・交渉も担当されました。

ホワイトハウス入りされる前は、米議会下院歳出歳入委員会貿易担当法律顧問として、米国経済政策や法案について米議会議員に助言する役割を果たされました。また議会入りされる前は、米国通商代表部(USTR)法律顧問補佐として、40件以上の世界貿易機関(WTO)紛争案件を担当されました。

本イベントでは、第一次トランプ政権の大統領副補佐官等としてのご経験をもとに、国家安全保障、経済安全保障、同盟関係など様々な視点から、第二次トランプ政権の国際経済政策の展望を披露していただきました。

また日米関係についても、第一次トランプ政権の二国間関係を踏まえた第二次トランプ政権の予測を基に、日系企業に具体的なアドバイスもされました。

今回のイベントは参加者にとって、第二次トランプ政権について考察すると共に、米国の国際経済分野で活躍する女性弁護士のキャリア形成を学ぶ貴重な機会となりました。

(注)当イベントは原則オフレコでしたが、公表情報を基に講師の承認を得た情報を盛り込んでいます。



※J-WIP(Japanese Women in the Professions in Washington DC): ワシントン地区で働く日本女性へのキャリア育成支援活動。2016年1月から、ワシントン日本商工会として支援。